

天上界の美と愛の調べをハープとピアノと歌に乗せて
弟橘レイア Autumn Concert

ハーピスト、ソプラノ歌手、ピアニストと多彩な表情を併せ持つアーティスト、弟橘レイアによる2021年秋のコンサート。六本木シンフォニーサロンに、ピアニスト白熊杏梨氏をお迎えして、クラシック音楽から日本歌曲まで心地の良い音楽の調べをお届けいたします。グラントハープ・歌・ピアノの3つの音色が織りなす優雅なひと時を会場観賞、ライブ配信のお好きな方法にてぜひごゆっくりとお楽しみください。

文化庁令和2年度第3次補正予算事業「ARTS for the future!コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業」採択公演。

Reia Ototachibana
弟橘レイア

ハーピスト・ソプラノ歌手・ピアニスト



国立音楽大学 声楽学科卒業。

5歳からピアノを始め、16歳の時、日本ピアノコンクール全国大会特級2Aの部第1位を受賞。これまでピアノを、故内海和子、内海咲子、小林美樹各氏に師事。また、エーリツヒアンドレアス（ベルリン芸術大学教授）、セルジオ・ベルティカローリ（ショパンコンクール審査員）、レナーテ・クレッチマール（ドイツデットモルト音楽大学教授）、ギュルテン・ルートヴィヒ各氏によるピアノ公開レッスンを受講。

中学3年時、岩手県独唱大会県大会において最優秀賞を受賞したことも影響し、16歳より声楽を佐々木まり子氏に習い始める。歌を歌うことの楽しさと喜びを体感し、進路を音楽大学の声楽科を受験することに決める。

1998年 国立音楽大学声楽学科に入学。声楽を依田喜美子、秋葉京子、故宮崎晶子 各氏に師事。在学中、コンセール・ヴィヴァン新人オーディション声楽部門にて合格。

2001年 国際ベルヴェデーレオペラ・オペレッタコンクール日本予選で話題を呼び、「岩手日報」新聞に、ソプラノ歌手として透明感のある美声を評価され掲載される。

音楽が人の心に与える影響について関心が深まる中、大学卒業後にアイリッシュハープと出会い楽器独特の心に響く清らかな音色に魅了され、アイリッシュハープを渡邊真位氏に習い始める。ハープ奏法を学ぶ中、ハープの音色に合う歌い方の研究を行いつつハープの弾き歌いによる演奏活動を始める。

各種イベント・礼拝堂・高級料亭・老人ホーム・病院・小学校などで依頼演奏を引き受けてきた。その後、日常生活での感動や喜び、悲しみ、芸術や自然の中にインスピレーション受けメロディが浮かぶようになり、徐々に作曲活動を開始する。

ハープによる演奏の機会が増えるにつれ、アイリッシュハープで表現できる音域と曲数に限界を感じ始め、転調や多数の臨時記号に対応できるグラントハープを学び始める。

グラントハープを宮原真弓氏に師事。

2013年 芸名「弟橘レイア」として、新たに活動を開始。2014年 株式会社エルパレスを設立。

2015年 ファーストアルバム「優しい光と共に」をリリース。自社主催によるコンサートを多数企画し行う。2018年 白井あすなろライオンズクラブ主催のチャリティコンサートに出演。

2018年・2019年・2020年と、コスモプラネタリウム渋谷の企画にて自作作曲を提供。アルバム「心地よい眠りのために〜Harp & Voice〜」をリリース。2020年 アルバム「命尽きるまで」をリリース。

テレビ朝日系列のテレビ番組「人生の楽園」にて、自作曲「優しい光と共に」が採用される。

現在は、ハーピスト・ソプラノ歌手・ピアニストとして、音楽による人々の心の救済と幸せを拡げることを目的とし、クラシックの名曲・ポップスの名曲・自作曲による演奏活動を繰り広げている。

日本ハープ協会会員。



Anri Shirakuma
白熊杏梨
ピアニスト

上野学園大学音楽学部音楽学科器楽コース（ピアノ専門）卒業。

在学中はソロをはじめ学内定期演奏会、学外演奏会にも伴奏者として多数出演する。

現在は演奏活動の他、日本クラシック音楽コンクールでの審査員を務めるなどピアノ教育にも力を注いでいる。

2019年ヤマハ銀座主催「New Generation Piano Concert vol.14」出演。江東区門仲伸町ピアノ教室ハートーン主宰。

これまでにピアノを故朝生一代、斎藤利恵、大室晃子、田中あかねの各氏に師事。



©Ayane Shindo

御来館の際の注意事項

